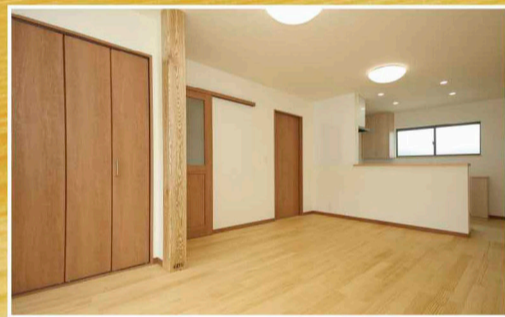


春原木材でなければできないものにこだわり続ける。



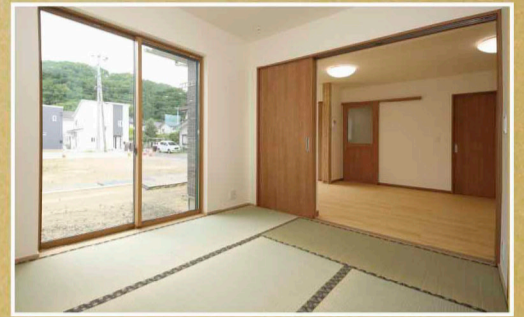
■玄関ホール ヒノキ・マツ・スギ・サクラが奏でるさわやかな空間は、絶妙なハーモニー。



■リビング 凹凸のある浮づくりの床は、木のぬくもりを感じられ、夏は素足でもベタつかずさらりとした触感で、冬はほんのり温かい。

澄んだ空気とぬくもり
厳選された天然素材でしか
味わうことができない
いつまでも続く居心地の良さ

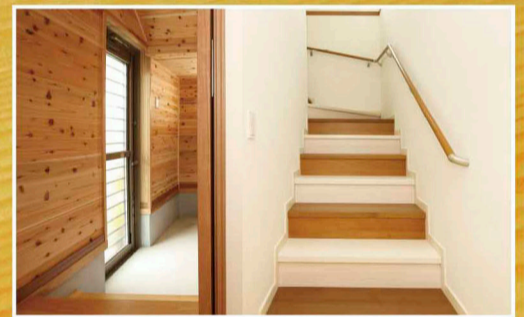
本物を求めるあなたへ。



■和室 炭入り健康畳。その下地はヒノキの荒床、さらに床下全面の炭が呼吸しあい、床下の環境から住まいの耐久性を保っている。



■飾り棚 アオダモの濃淡のコンビネーションは、家族の思い出が飾られていく。



■階段&階段下収納 安全性を配慮した幅広で段差が見やすい階段。勝手口を兼ねた収納庫は広い土間にスギの無垢板張り。

健康&自然住宅

ピュア
Pure

● 100年後の未来へ伝え続ける使命

春原木材は家だけをつくっているわけではありません。
たとえば 100年後、住宅はテクノロジーの進歩により、形や様式も変化し、想像を絶するものになっているかも知れません。
そこに「本物の木」は現存しているのでしょうか？
すべて工業化されたイミテーションで、人工的な環境に暮らしているのかも知れません・・・
未来の子どもたちに本物の木の香り、ぬくもりに包まれた居心地の良さを忘れないでほしいのです。
春原木材は 100年後の未来の子どもたちのために安心して暮らし続けられる「本物の木」の家をつくり続けているのです。
そんな想いが「未来へ伝える木のぬくもり」という言葉に込められています。



7月16日(土)・17日(日)・18日(祝)
きごこち
自然素材
リノベーション見学会
長野市 川中島町

すべてが質の高い住まいへ
SINCE 1949
きごこち
G@C@C@I
リノベーション



未来へ伝える木のぬくもり
株式会社 **春原木材**
TEL.026-278-4111
〒381-1222 長野市松代町豊栄6414-5

骨組見学会 6月25日(土)・26日(日)

2会場同時開催 ●午前10時～午後5時

あなたの家の見えない部分がどんなふうになっているか、ご存じですか？
床・壁・天井などのインテリアには関心があっても、その裏側まではあまり考えないというのが普通かもしれません。でもほんとうに大切なのは、その家がどんなしくみでできているかということ。人まかせにしない家づくりは、まず家のしくみ、そして何故そのようになっているかを知ることから始めましょう。

家づくりにおいて一番大切なこと。それは構造・強度・耐久性です。それにより家の寿命が大きく異なります。30年後に後悔しないためにも、家を建てる前に必ず一度は、骨組を見て、知っておく必要があります。

ピュア
Pure
健康&自然住宅

春原木材独自の伝統と技術が耐震性と耐久性の両立を実現。どうして耐震等級3だけでなく「耐久性」にもこだわるのか？

●耐震等級3 × 耐久性 = 安心が持続する家

春原木材ではすべての建物を耐震等級3で施工しています。耐震等級3は消防署・警察署などの防災拠点となる建物に相当します。そのため、ご予算やご要望に関係なく、基本構造に関わるサイズや材質を下げることをしていません。

古来より使われているヒノキ・アカマツなどの耐久性の高い樹種を適材適所に用いています。

地震に強く、耐久性がある「本物の木の家」に安心してお住いいただき、末永く見守りたいという、春原木材の家づくりに対するこだわりなのです。



●耐久性を高めるには「呼吸する家」

耐震性が高くても呼吸しない家は腐ります。長持ちする家づくりに最も大切なことは見えない部分が呼吸すること。

高気密化が進むにつれ、呼吸できない新建材の多用により、結露やカビの発生しやすい環境となり、建物寿命が短くなってしまいました。

築100年の木造住宅が、現存しているのはなぜでしょうか？ それは自然素材を適確に使い、建物を呼吸させる技術があったからです。

熊本地震で倒壊した建物の原因について、建築基準法を満たした建物でも木材が呼吸できず、湿気や結露でカビや腐食が発生して、劣化による強度の低下が要因のひとつでした。

家の見えなくなる部分（野地板・外壁・室内壁・壁下地・断熱材・床下）に呼吸できる素材を使うことが、何よりも重要であると言えます。

耐震性だけでなく、長期にわたる耐久性を追求し、春原木材は呼吸する家づくりにこだわり続けます。



●丸太梁を使い続ける理由

信州で育った地元産アカマツの丸太梁。厳しい自然環境で、風雪に耐えてきたアカマツは、独特のヤニが保護効果を発揮して強度に加え、粘り強さがあります。

丸太梁は自然な曲がりやを、そのままアーチ状として利用することで、屋根の重量を支えながら、堅牢でたわみづらく家全体のバランスを保っています。人間に例えると背骨のような役割をしています。

春原木材は、今では希少なアカマツを手間をかけて、1本1本のクセを読み、加工する伝統構法の技を継承し、木の家の原風景を伝えながら、長持ちする家を未来へとつくり続けていきます。

●お客様のための 厳しい設計基準

春原木材では厳格な社内設計基準を設け、建築基準法で求められる耐力壁（地震の横揺れによる被害を防ぐために有効な壁）に対して、耐震上、横揺れに有効な「すじかい」を125～130%増量しています。

家のバランスの数値として柱直下率60%以上、耐力壁直下率も60%以上、偏心率は20%以下という独自の基準ですべての建物を設計しています。

●木からできた断熱材を体感

自然素材のセルロースファイバーが持つ調湿性に加え、心地よさの秘密は「容積比熱」にあります。「夏場に家の中に入るとひんやりする」「夏に冷房をほとんど使わずに過ごせた、他の断熱材と明らかに違う」「空気がさわやか」など、アンケート結果でも体感による評価が高いです。

セルロースファイバーは、外気温が室内の温度に影響を及ぼしにくく、同程度の熱伝導率を持つ他の断熱材の住宅にはない快適性が体感できます。

セルロースファイバーは、容積比熱がグラスウール16Kの約7.7倍も優れているため、その蓄熱性の高さから室内まで熱気が入りにくくなるのです。

セルロースファイバーは施工密度が高く、断熱材使用量が多いため、施工に時間がかかりますが、容積比熱という考え方では逆に他の断熱材と比較して、夏の快適性にも優位に働くことが実証されています。

■当日、会場にて施工途中をご覧いただけます



建て替えかリフォームか？迷っているあなたへ
無料建物診断受付中!!

●現在、申込み多数のため、診断をお待ちいただくことをご了承ください。詳しくはお問い合わせください。

●新型コロナウイルスの対策として、会場内で密接しないために入室制限をする場合があります。
※マスク着用でのご来場、手指のアルコール消毒、手袋の着用のお願いなど、詳しくはお問い合わせください。

SNSなどでも見学会の最新情報を掲載中! ご覧ください。



ホームページ
<https://sunohara-kinoie.jp>

←フェイスブック インスタグラム→



株式会社

未来へ伝える木のぬくもり

春原木材

TEL.026-278-4111

〒381-1222 長野市松代町豊栄6414-5